

浦崎沖縄県副知事視察

2月18日から19日にかけて、浦崎唯昭沖縄県副知事が来島し、県道主要箇所や空港ターミナルビル、海洋深層水関連施設などを視察しました。

大田町長から県道の歩道未設置部分の早期整備、空港ターミナルビル老朽化に関わる修繕等の依頼をし、浦崎副知事からは前向きに検討したい旨の返答がありました。



久米島紬の魅力、再発見!!

久米島紬と久米島花織の新作及び復元制作発表展

字真謝出身の織物作家、川前和香子さんの展示会「久米島紬と久米島花織の新作及び復元制作発表展」(川前和香子織物実行委員会主催)が、3月5日から13日まで久米島博物館で開催されました。

川前さんは久米島紬の新商品開発や久米島のノロ家に伝わる古い織物資料を基に「久米島花織」復元研究に取り組んでおり、御巾(ティサージ)や手花織技法を用いた久米島花織の着尺や帯地など60点のほか、川前さんの母親で重要無形文化財久米島紬保持団体初代表の故玉城カマドさんの作品も展示されていました。



たくさんのお仕事楽しんだよ~

グッジョブ・わくわくワーク

3月6日、具志川改善センターにて小学校3年生から中学1年生を対象に「グッジョブくめじま わくわくワーク」が開催されました。

会場では、14のお仕事を体験するブースが設けられ、警察のお仕事では、テレビドラマでよく見る「鑑識(かんしき)」の体験をしたり、空港業務では、DVDを観ながら飛行機の誘導をしたりしました。貨物室の荷物運びを体験した清水小5年生の与儀なぎささんは「色々な形があって工夫をした。チームワークが大事だと思った」と感想を述べました。子どもたちは、限られた時間内に1つでも多くブースを回り、積極的にお仕事体験をしました。



子育て支援での活用を

久米島商工会青年部あみだくじ収益金の一部を寄付

3月2日、久米島商工会青年部は、久米島まつりの時に青年部主催で行われるあみだくじの収益の一部を久米島町社会福祉協議会へ5万円の寄付をしました。

商工会青年部の田場部長は、「今回の寄付は、主に子育てにおける支援に役立てて欲しい」と話し、社協の儀間会長は、「子育て支援に使わせていただきます」とお礼を述べました。



自分のやりたいビジネスを見つける

女性創業支援セミナー

沖縄総合事務局主催による「女性創業セミナー」が3月12日、久米島町老人福祉センターで開催されました。

ブルームーンパートナーズ株式会社執行役員の山城あゆみさんによる講演では、沖縄県は、資本金が少なく気軽に起業が出来るメリットや反面、廃業率も比例している等の話がありました。

グループワークでは、実際、創業している方、これから創業を考えている方、それぞれのアイデアを整理していくことで、自分たちはどのようなビジネスを展開していきたいかを少しずつ明確にしていきました。参加者からは、「定期的にこのようなセミナーを行ってほしい」という声もあり、有意義なセミナーとなりました。



久米島のためにできることは何か

地域円卓会議 in 久米島

3月3日、「地域円卓会議 in 久米島」(主催：国立大学法人琉球大学、公立大学法人名桜大学)が具志川改善センターにて開催されました。

「県内の島嶼地域の若者の定住と働き場所について考える」をテーマに久米島の現状について、着席者5人が議論を展開しました。人口減少の課題がベースとなり、進学や就職等の理由で島外に出た若者を中心に島に戻ってくるためのプラットフォームづくりが必要であること等が話されました。

様々なところから出る「情報」をいかに整理し、活用していくかが久米島を元気にし、課題を一つ一つ解決できるかがわかる会議となりました。



座席にゆとり、快適な飛行を

RAC新機種「DHC-Q400CC」内覧会

那覇から飛行してきた新機種を出迎えた後、機内の見学が行われました。

客室乗務員の小倉さんより新機種の特性について説明があり、全体的に座席の足元が広がっていることや読書灯は、LED仕様で明るくなっていること等が話されました。

見学に訪れた仲里幼稚園、清水幼稚園の園児たちも新しい飛行機の座席に座ったり、コックピットを見たり、見学を楽しんでいました。



貨物室も広くっており、荷物も多く運ぶことが出来るので、これまで、1回で運搬できる重さに制限がかかっていた課題の解消にもつながります。

RAC新機種の就航は、4月15日から873便/874便と875便/876便となります。

パチパチはじいて、楽しく計算

久米島そろばんボランティア教室

3月4日、清水小学校3年生を対象にそろばんボランティア教室が行われ、パチパチとそろばんをはじく音が教室に響き渡りました。

生徒らはお互い教え合いながらそろばんを使って計算問題を解き、最後にはフラッシュ暗算までチャレンジしました。

久米島そろばん教室の山元朝弥先生は、「そろばんに初めて触れる生徒も、すぐに使い方を覚えて、上手にそろばんを使いこなしていました。そろばんの楽しさが、少しでも伝われば嬉しいです」と話しました。

